

見えない場所から、 みんなの当たり前を守る。



土木 技査補

経歴

- ・平成30年4月～
道路整備課
- ・令和5年4月～
管路管理課 下水道維持係

Q.あなたの仕事を教えてください。

みなさんが毎日何気なく使っている水が、使われたあともスムーズに下水道へと流れていく仕組みを支える仕事です。

詰まりや破損などのトラブルが起きた現場に行って状況を調べることから始まり、パソコンで正確に図面を引き、実際に工事してくれる業者さんと「どう進めるか」を話し合っ、現場の監督まで一貫して担当します。

普段は道路の下に隠れていて見えない部分ですが、街のキレイな衛生環境を支える、誇りを持てる仕事です。

Q.市役所の意外だったギャップは何ですか？

もともとは「生まれ育ったこの街をよりよくしたい、そのためには市民のみなさんと一番密接に関われる高知市役所が良い。」と思って入庁を決めました。

入庁前は「役所の技術職は、普段、デスクワークが中心なのかな」という不安も少しありましたが、実際は全然違いました。

頻繁に現場に向かい、地域の方々の声を直接聞きながら、業者さんと「どうすれば安全に、みんなが喜ぶ形に仕上がるか」を考えていきます。

まさに思っていたとおり「市民のみなさんと密接に関わる手応えとやりがい」を現場で日々実感しています。

Q.困った時の相談方法と環境は？

下水道の仕事は専門知識が必要で、最初は分からないことだらけです。

でも、私の部署の先輩たちは「前の現場ではこう解決したよ」と具体的なヒントを優しく教えてくれます。

答えをただ教えるんじゃなくて、「自分の力で乗り越えられるように」と温かくサポートしてくれるので、若手でも不安ゼロで、毎日自分の成長を実感しながら前を向いて進めます。

Q.自己研鑽の方法と機会は？

普段の仕事の中で先輩から教わるのはもちろん、市役所以外で行われる技術の勉強会や講習会にも、職場のバックアップで積極的に参加させてもらえます。

常に最新の工事のやり方や新しい知識に触れられるので、現状にとどまらず、技術者としてのレベルをどんどん上げていけるチャンスが用意されています。

Q.休日の過ごし方や趣味は？

オンとオフの切り替えがしっかりできる職場なので、プライベートも充実しています。

休日は、野球やバレーボールで、思い切り体を動かして頭をリフレッシュしています。

ときには県外のコンサートに遠出することもあり、休日を楽しむことが、平日の仕事への大きなエネルギーになっています。



ある1日のスケジュール

08:30 始業・朝礼

チームで今日の予定を共有。メールをチェックして、やることを整理

09:00 図面作成

デスクで集中。パソコンを使って、取付管工事の図面を作成します。

11:00 打合せ

工事では道路を通行止めにするなど、周辺の皆さんの生活に影響があるため、工事をする業者さんと、安全でスムーズな施工方法を話し合います。

12:00 昼休憩

昼はみんなで頼むお弁当か、近くのコンビニ等で買ったものを自由に食べています。

13:00 現地調査

過去に埋設された取付管が不具合がなく利用できるか調査を行います。

15:30 書類作成

職場に戻って、工事に必要な書類の手続きや、報告用の資料を作成。

17:15 退庁

翌日の予定を確認して、急な用事がなければ退庁します。

未来の後輩へのメッセージ

専門的な知識が不足している状態で入庁し、今現在も技術的な分野に詳しくなったとは胸を張って言えません。

ですが、周りにいる同僚や先輩方、上司が話しやすい環境を作ってくれているおかげで、分からないことを聞き、自分のスキルに身につけることが出来ています。

分からないことは恥じることではないので、積極的にコミュニケーションをとっていくことが大事だと思います。